

# 風しん予防接種(MR・風しん単抗原ワクチン)を希望される方へ ～任意接種用～

## ◎助成制度について

### 【予防接種助成対象者】

飯塚市・嘉麻市・桂川町に住所(住民票登録)を有する、風しん抗体検査の結果、接種者本人の抗体価が低く、下記の①または②に該当する方

- ① 妊娠希望者(妊婦は除く)
- ② 妊婦または妊娠希望者の配偶者(パートナー含)、同居者(妊婦または妊娠希望者と生活空間を同一にする頻度が高い家族)

→ただし妊婦(または妊娠希望者)の抗体価が十分にありと判明している場合は対象外です。

### <注意事項>

\*ワクチン接種時には接種者本人の風しん抗体検査の結果の提示が必要です。

②の場合、妊婦または妊娠希望者の抗体価が低いと判明している場合はその結果も提示してください。

\*2019年4月以降にこの助成制度を利用してワクチンを接種したことがある方は対象外です。

\*S37.4.2～S54.4.1生の男性の方は国の風しん対策として定期接種の対象です。

(抗体検査の結果により定期接種の対象とならない場合があります。国の接種対象とならない場合、上記の対象に該当する場合はこの制度を利用しての接種が可能です)

### 【助成対象となる抗体価】

別紙1をご参照ください。

### 【接種回数・接種費用】

\*接種回数 1回

\*接種費用(本人負担額)

使用ワクチン	令和6年4月～5月	令和6年6月～
MR(麻しん風しんワクチン)	4,065円	4,131円
風しんワクチン	501円	567円

### <接種費用の減免について>

生活保護世帯の方は医療カード(桂川町の方は診療依頼書)の提示、住民税非課税世帯の方は非課税世帯証明書の提出で自己負担が免除になります。

免除の書類等を持参せずに接種費用を自費で支払った場合、市・町は払い戻しを行いません。

◇上記の助成制度に該当し予防接種を受ける方は、下記の説明書を読み、接種を受けてください。

#### 1. 麻しん、風しんとワクチンの効果について

MRとは「麻しん」と「風しん」を予防するワクチンです。麻しんは、麻しんウイルスによる重い感染症です。発熱、咳、鼻水、めやに、発疹が主症状で肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症がおこる事があります。

風しんは発疹、発熱、頸部リンパ節の腫れが主症状で、血小板減少性紫斑病、脳炎などの合併症がおこる事があります。妊娠初期の妊婦が感染すると生まれてくる子どもが先天性風しん症候群(難聴・先天性心疾患・白内障など)になる可能性があります。予防接種により、95%以上の方が免疫を獲得できると言われています。

裏面もお読みください。

## 2. 接種を受けることができない方

### 1) 現在、妊娠している場合

- 2) 体温が37.5℃以上ある場合
- 3) 重篤な急性疾患にかかっている場合
- 4) 接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
- 5) 3～6ヶ月以内にガンマグロブリン(血液製剤の一種で重症の感染症の治療などに使われます)の注射あるいは輸血をうけたことがある人(免疫が十分に出来ないため、接種を延期する必要があります。)
- 6) 免疫に影響のある基礎疾患を有する人や免疫を抑える薬を服用中の方
- 7) 医師が不適当な状態と判断した場合

### 【女性への注意事項】

妊娠している、またはその可能性がある方は、接種することができません。出産後または妊娠していないことが確認された後、接種してください。**接種後2ヶ月間は妊娠を避ける必要があります**。万が一、接種した後に妊娠が分かった場合は、産婦人科の先生にご相談ください。なお、これまでにワクチンによる先天性風しん症候群の患者さんの報告はありませんが、その可能性が否定されているわけではないので、接種前の注意が必要です。

## 3. 予防接種を受ける際に注意が必要な方

- 1) 心臓血管系疾患、腎疾患、肝臓疾患、血液疾患等の疾患を有する方
- 2) 予防接種後2日以内に発熱のみられた方、及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- 3) 過去にけいれんの既往のある方
- 4) 過去に免疫不全の診断がされている人及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- 5) 接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方
- 6) 家族や勤務先など周囲に麻疹、風疹などの病気が流行しており、その病気にかかっていない方

## 4. 接種後の副反応について

ワクチン接種後から数日以内に発熱、発疹、かゆみなどがみられる場合があります。全身症状として接種後数日から2週間以内に全身のだるさや接種部位の痛み、発赤(赤くなる)、腫脹(はれる)、硬結(固くなる)などがみられる場合があります。まれに重い副反応として、アナフィラキシー様症状(ショック、じんましん、呼吸困難など)、血小板減少性紫斑病(紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等)脳炎、けいれん等が報告されています。

## 5. その他の注意事項

- 1) 生ワクチン(BCG、水痘、おたふくかぜなど)接種後は27日以上の間隔をあけて接種する必要があります。また、麻疹風しんワクチン接種後に他の生ワクチンを接種する場合は27日以上の間隔が必要です。
- 2) ワクチンを接種した方の咽頭(のど)から接種1～2週間後にワクチンウイルスがでてくる場合がありますが、周りの方にうつることはありませんので、妊婦さんの家族の方が接種を受けられても心配はありません。
- 3) 接種した当日の入浴は可能ですが、接種部位を清潔に保ち、激しい運動はひかえてください。

## 6. 予防接種による健康被害救済制度について

任意の予防接種によって引き起こされた副反応により重篤な健康被害が生じた場合は、審査のもと「独立行政法人医薬品医療機器総合機構法」に基づく健康被害救済制度の対象となります。

不明な点などあれば下記までお問い合わせください。

飯塚市	健幸保健課	感染症対策室	電話	0948-22-0380
嘉麻市	子育て支援課	母子保健係	電話	0948-62-5715
桂川町	健康福祉課	健康推進係	電話	0948-65-0001